

平成30年度 糸魚川売れる米づくりコシヒカリ生育情報 NO. 8

平成30年8月21日
糸魚川地域振興局農林振興部

【生育状況及び対応】

- 出穂期（糸魚川地域の移植最盛期5月12日）は、8月2日と平年、前年に比べ3日早くなりました。7月31日頃に出穂期のほ場も連休植えでみられます。
- 8月1半旬は高温でしたが、2～4半旬は並～低い傾向です。日照時間も平均気温と同様に1半旬は多く、2～4半旬は少ない傾向です。

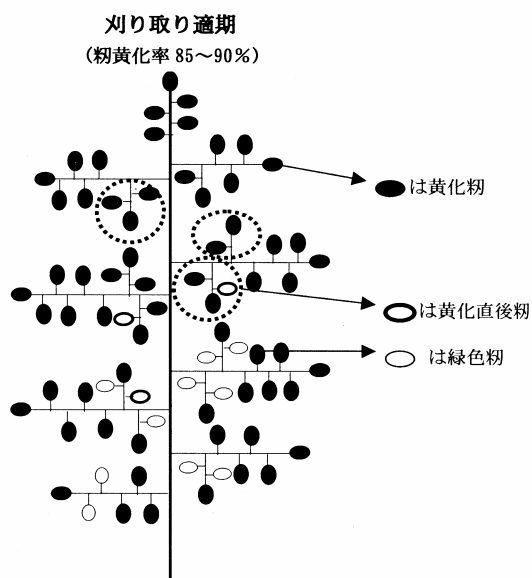
観測地点：糸魚川市一ノ宮

	平均気温 (°C)	平年差	日照時間 (時間)	平年比 (%)
8月1半旬	28.6	+1.6	55.7	166
2半旬	26.4	-0.6	11.9	36
3半旬	26.9	±0	26.4	84
4半旬	23.5	-3.1	27.0	87

- 気象予報（日本気象協会 8月20日発表）
台風19号、20号の北上に伴って、**21日～24日にかけて高温に警戒**が必要です。**台風19号は23日～24日にかけてはフェーン現象による高温の可能性**があります。
台風20号は進路によってはフェーン現象による高温と南よりの強風の可能性があり、今後の進路に注意が必要です。
- 収穫適期は、ほ場の状態や今後の天候により変動します。アメダス地点の積算気温やほ場に設置してある刈取判定器のデータを参考に、実際に自分のほ場での穂の黄化割合を確認し、適期に収穫をしましょう。

【適期収穫に当たっての留意事項】

- コシヒカリは、ほ場が乾きすぎると登熟不良となり、品質が低下するおそれがあります。根の活力を保ち、土壌からの窒素供給を維持して登熟を向上させるため、**出穂期25日後までは飽水管理を徹底**しましょう。**強風やフェーン現象による高温が予想される場合は、被害を軽減するため速やかに湛水**しましょう。
- 積算気温による収穫適期のめやすを基に収穫作業計画を立てましょう。
(次頁「積算気温から見た収穫適期のめやす」を参照)
- **実際の収穫日の判定は、籾の黄化率で判断**しましょう。
(籾黄化率85～90%が収穫適期 下図参照)



※ 図中の点線内（上位3～4本目の籾）が黄化した時期が収穫適期

※ 下位の枝梗に付着する籾が黄化せず、青みが残っている頃

図 収穫適期における1穂内の籾の黄化状況

【適正な乾燥、調製における留意事項】

- 仕上げ水分 15.0%を目標に乾燥し、必ず水分計で仕上げ時の水分を確認する。
- 乾燥速度 乾燥時の胴割れを防ぐため、0.8%/時以下に設定する。
- 送風温度 食味低下を防ぐため、乾燥機の送風温度は以下のとおり設定する。
 張り込み時の籾水分 24%の場合 →送風温度 50℃以下
 28%の場合 →送風温度 40℃以下
- 粳すり 品種が変わるごとに、脱ぶ率が80~85%になるようゴムロール間隔を調節する。
- 選別 1.85mm以上の篩を使い、適正流量で処理する。未熟粒や被害粒が多い場合は、1.9mm篩や色彩選別機を使用して、1等米に仕上げる。

【積算気温から見た収穫適期のめやす】

(8月20日まで本年気温、それ以降は平年値で積算)

コシヒカリ

アメダス データ地 点	出穂期	収穫適期のめやす
糸魚川	8 / 1	9 / 9
	8 / 4	9 / 13
	8 / 7	9 / 16
	8 / 10	9 / 20
	8 / 13	9 / 24
	8 / 16	9 / 27
能生	8 / 1	9 / 12
	8 / 4	9 / 16
	8 / 7	9 / 19
	8 / 10	9 / 23
	8 / 13	9 / 27
	8 / 16	10 / 1